

日本維新の会神戸市会議員団 市政報告

編集・発行 日本維新の会神戸市会議員団 | 〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5-1 | <https://kobe-ishin.jp/>
TEL(078)322-0185 FAX(078)322-0184 | info@kobe-ishin.jp

日本維新の会神戸市会議員団政調会長
神戸市会議員
くろだ たけし **西区選出**

黒田武志



会派を代表し、本会議場で一般質問を行う神戸市会議員 黒田武志

特集 令和5年第3回定例会において、日本維新の会神戸市会議員団を代表し、一般質問を行いました。ウラ面に議事録(抜粋)を掲載いたしました。ぜひ、ご一読ください。

1 神戸国際ターミナルを視察

MOL(商船三井グループ)さんから、施設のご案内と現況のご説明をいただきました。神戸港が神戸市にもたらす所得創出効果(経済効果)は年間1.5兆円(全体の33%)。神戸港に関わる市内の就業者数は19.1万人(全体の26%)におよび、**神戸港の発展は、神戸の経済・産業を支える上で極めて重要**です。これまでの実務経験を活かし、世界の戦略港湾から学び、神戸港の発展に一層寄与してまいります。



2 神戸海軍操練所の遺構を視察

ウォーターフロントエリアの再開発事業に伴い**発掘調査を行った結果、石造りの築堤や、石積みの防波堤を発見**。絵図などの資料により、元治元(1864)年に江戸幕府によって設置された**神戸海軍操練所の跡地と推測**されています。勝海舟さんや坂本龍馬さん達が神戸で活躍した貴重な歴史遺産を適切に保存・活用し、後世に伝えていくための取り組みを関係部局と協議しながら進めてまいります。



3 コベルコ神戸スティーラーズが神戸市を表敬訪問

ラグビーワールドカップ2023フランスに日本代表として活躍された、具智元選手、サウマキアマナキ選手、山中亮平選手、李承信選手をはじめ、デイブヘッドコーチ、福本チームディレクター、水上ラグビーセンター長も来庁されました。



令和6年度 神戸市の予算

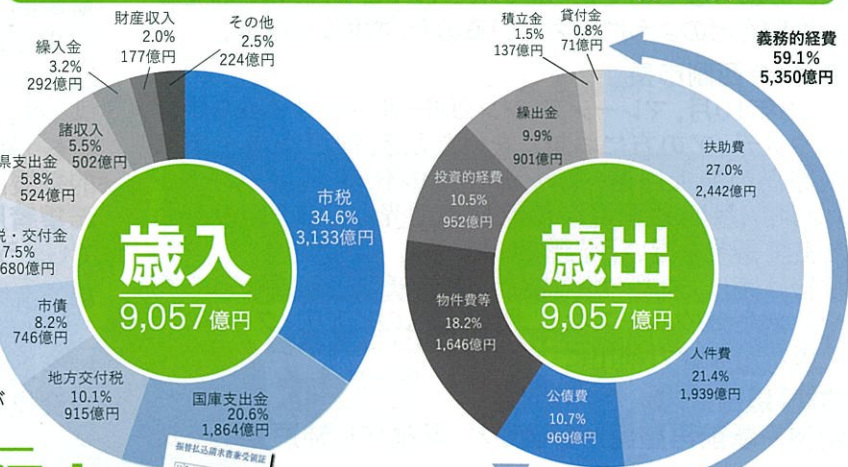
総額：1兆9,270億円(前年比：+77億円)

● **一般会計：9,057億円**(前年比：+263億円)
福祉、教育、道路・公園の整備など、市の基本的な事業を行う会計です。

● **特別会計：6,711億円**(前年比：-92億円)
国民健康保険や介護保険、市営住宅など、特定の収入で行う事業の会計です。

● **企業会計：3,502億円**(前年比：+218億円)
バスや地下鉄、上下水道など、主に利用者のみなさんが支払う料金収入等で行う事業の会計です。

一般会計予算の概要



身を切る改革継続実行中。

能登半島地震への支援

日本維新の会神戸市会議員団は、議員報酬から捻出した総額500万円(議員一人あたり373,860円)を、災害義援金として石川県珠洲市に寄付しました。



被災地から神戸市へ避難した方へ
神戸市で避難者情報の登録をすると、神戸市での生活に必要な支援や相談等を受けることができます。登録方法など詳しくご案内しています。



※本予算案は議会での議決を経て成立した上で、実施されます。

黒田武志の議会での発言【議事録抜粋】



令和5年第3回定例会 日本維新の会神戸市会議員団を代表し 一般質問を行いました

1. 神戸の特色を生かした 経済発展と観光施策について

質問: 黒田武志
兵庫県と阪神・淡路ベイエリアの7市が「兵庫圏域の大阪湾ベイエリア活性化基本方針」を策定しました。神戸空港の国際化を見据え、大阪や京都にはない強みを発揮するため、この基本方針を市としてどのように推進していくのか、お伺いします。

質問: 黒田武志
今年の決算特別委員会において、神戸空港国際化を見据えた海上ルートによる誘客について、改めて疑問いたしました。その際、実証事業として、海外旅行会社や海外メディアを招待し、意見交換する予定であるとの答弁でした。評価はどのようなものであったのか、それを受け、市として今後の展望をどのように考えているのか、お伺いします。

質問: 黒田武志
新神戸駅前再整備が計画され、駅構内に神戸登山支援

拠点のトレイルステーション神戸が開設されるなど、魅力向上が図られています。その一方で、新神戸駅から布引の滝の間には、明治時代に建てられた布引水源地水道施設である砂子橋(重要文化財指定)がありますが、観光スポットとして認知されていません。

その他にも市内の地域各所に歴史的価値のある建造物や景観、民俗芸能などが埋もれており、それをどのように活用して、観光施策や地域活性化策を進めていくのか。見解をお伺いします。

答弁: 今西副市長
砂子橋を含む水道施設の歴史的価値やストーリーに焦点を当てて情報発信を行うことは、誘客に効果があると考えています。また、歴史的価値のある建造物や地域に根差した民俗芸能などが持つ価値やストーリーを発掘し、人を呼び込めるように取り組みたい。

この質問の後で... ハイキングの起点となる砂子橋(いさごばし)のライトアップ、布引の滝までの登山道の照明を整備する補正予算が付きましました。引き続き、神戸登山の魅力向上を推進していきます。

2. 神戸農業振興地域整備計画と 里山・農村エリアへの 移住促進施策について

質問: 黒田武志
現在、神戸農業振興地域整備計画の総合見直し実施方針(案)に係る意見募集を実施しています。今回の見直しを、里山・農村エリアにおける人口減少対策として移住促進施策に活かすべきと考えますが、見解をお伺いします。

質問: 黒田武志
現在、神戸・里山暮らし空き家バンクに登録されている空き家は25件。その中で、ウェブサイトに掲載されているのは2件。そして、移住に関する問合せ件数は400件で、そのうち、面談に至った件数は300件にとどまっています。潜在的需要に十分対応できていないのではないかと。まずは移住希望者用の空き家確保に努めるべきと考えますが、いかがでしょうか。

質問: 黒田武志
農村地域での空き家の確保は、空き家おこし協力隊の活動が最も効果的と考えている。活動強化に向け、定期的な意見交換の開催、マニュアルの整備などを実施したい。

要望: 黒田武志
神戸市は大都市でありながら、市街地から近い場所に里山・農村エリアがあるという強みがあります。地域の魅力を最大限に引き出し、移住者と地元住民との交流を促進する環境を整えることで、全体の発展に寄与できるよう推進していただきたい。

神戸・里山ぐらしとは... 人口150万人都市の神戸にも、北区や西区を中心に、豊かな農村地域が広がり、豊かな自然や農地に囲まれながらも、都市的で便利な生活、すなわち、神戸ならではの「里山暮らし」を送ることができます。

3. 学園都市駅前の活性化について

質問: 黒田武志
学園都市駅にあるユニバーシアード神戸大会(1985)の表彰式やイベント広場として使われた歴史があり、まちのシンボルとなっています。現在でも年に数回、イベント会場として活用されていますが、十分に活用し切れていないと言え難い状況です。

また、5大学1高専が運営する大学共同利用施設UNITYが、令和6年3月末をもって閉館され、施設が市に返還されるとの通知がありました。これらの貴重な市の資産をより積極的に活用していくべきと考えますが、今後の取り組みについて伺います。

質問: 黒田武志
学園都市駅前の活性化は、学園東町で運行されている地域コミュニティバス「にじ色バス」の運営存続の観点からも非常に重要であり、地域の皆さんの皆さんは、本格運行が安定して継続できるように、あらゆる努力をされています。

民間活力の活用や周辺の5大学等と連携を深めつつ、市民の外出機会を促しながら、学園都市の地域特性に合った活性化策を図っていくべきと考えますが、いかがでしょうか。

質問: 黒田武志
学園都市駅前の活性化に向け、駅前空間を利用したい人たちに広くPRすることで、新たな利用を掘り起こし、いつ訪れても楽しいイベントや取り組みが行われているという場になります

ように、仕掛けづくりの検討を進めている。駅前を活性化することで、駅周辺へ外向く機会を増やし、地域住民と学生らの交流促進につなげたい。

この質問の後で... 神戸市と神戸外大が継承する語学講座の継続と、要望していたコワーキングスペース(無料の一時保育施設)の設置も実現しました。

4. 伊川谷駅前の再整備について

質問: 黒田武志
現在、伊川谷駅前には、パーク&ライド駐車場やホームセンターがありますが、今後の駅前エリアの用地活用として、分譲マンションによる住宅供給を進めていくと聞いています。区域内で一定規模の集合住宅という新たな機能を追加するのであれば、パーク&ライド機能の維持のために、周辺農地の利活用を含め、検討を進めていただきたい。柔軟で幅広いアイデアを取り入れた再整備につながるのではないかと。

質問: 黒田武志
住宅供給に当たっては、セットで生活圏内の住環境を整備していく必要があります。昨年3月、予算特別委員会において質疑した際には、スーパー等を含めて商業施設の誘致を検討するとの答弁がありました。今後の事業者公募に向けて、新たな住民だけではなく、地元住民や駅利用者、そして交通利用者にとっても魅力的で利便性の高い商業機能として、スーパーの誘致を実現していただきたいと考えます。改めて見解をお伺いします。

現在検討を進めている伊川谷駅前の活性化につながる住宅供給及び商業施設の事業者公募におきましては、御意見を踏まえて進めたい。

市政改革 政策実現の先頭に!! 黒田武志

令和6年度予算特別委員会 局別審査

令和6年度神戸市当初予算案及び
関連議案に関し、分科会
に別れて、各局ごとの審査
を行います。



神戸市議員
黒田武志
議事録抜粋

昨年の予算特別委員会で
提案した、中突堤周辺道路や
緑地整備の検討が令和6年
度予算に盛り込まれており、
期待感を抱いています。

中突堤整備イメージ図→



※上記の他…●神戸空港の国際化に向けた兵庫県との連携強化について●神戸空港国際化を見据えた海上ルートによる誘客について●クルーズ客船寄港時のシャトルバス活用…等について質問いたしました。

港湾局

令和6年3月1日



子供をキーワードに 空港島のぎわいを創出

■質問：黒田武志…空港をテーマとして子供が集い遊べる空間を創出してはどうか。周辺エリアへの民間投資の誘発、そして、人材不足が課題となっている航空業界の人材育成確保にもつながるのではないかと。



■答弁…子供が集い遊べる空港島のまちづくりという観点、非常に重要だと思います。現在、戦略的な空港島の将来像を検討していますが、その中でしっかりと検討してまいります。

神戸空港の駐車場について

■質問：黒田武志…現状においても満車となる日があります。2025年の国際チャーター便の運用開始、国内線の発着枠拡大による利用増にも確実に対応できるように整備を進めていく必要がある。ターミナル北側駐車場を立体駐車場に整備することを検討すべきと考えますが、ご見解を伺います。

■答弁…駐車場は今後さらに、不足すると考えています。ターミナル東側に新たに400台分整備し、2025年春までに、全体として約3,000台分確保するという動きで動いています。立体駐車場化は有効な手段と思います。

ウォーターフロントエリアへの誘客

▶神戸海軍操練所遺構の活用

■質問：黒田武志…神戸港開港以前にあった海軍操練所の遺構が発見されました。この遺構が発見される以前から、海軍操練所の跡地を含む神戸港の歴史を生かした仕掛けづくりが必要であると提案していましたが、ますますその必要性が増したのではないのでしょうか。



■答弁…今回の発掘調査で発見された遺構は、江戸時代の海軍操練所の石垣築堤や明治時代の神戸港の第1波止場の信号所や防波堤です。幕末から近代港湾都市へと発展した神戸港の歴史を物語る重要な遺構です。適切な保存、活用方法について、検討を進めたい。

■要望：黒田武志…神戸だけではなく、日本全体にとっても大きな歴史的意義があります。ウォーターフロントへの玄関口として、施設を整備していただきたい。

経済観光局

令和6年3月4日



神戸ルミナリエ会場への キッチンカー出店支援について

■質問：黒田武志…ルミナリエは神戸を代表するイベントであるため、神戸産の農産物を活用したキッチンカーの出店をより積極的に進めていただきたい。西区・北区のイチゴなどのスイーツ、須磨のノリ、灘の酒、神戸ワインのブースなど、より深く神戸を感じられる運営をしてはどうか。ルミナリエに会場することで知った食事や食材に再び出会うために神戸を再訪することで、ブランディング向上と経済効果が期待できるのではないかと。



■答弁…市内事業者とも連携しながら、神戸の食事や食材をPRし、再び神戸を訪れていただくことで経済効果を拡大していく。そうつながるように取り組んでまいります。

▶学園都市のユニバードームでも

■質問：黒田武志…学園都市駅前のにぎわい施設であるユニバードームがありますが有効活用されてない。キッチンカー事業を展開し、地域全体に活気をもたらしていただきたい。見解を伺います。

■答弁…周辺に商業施設セリオがあり、配慮が必要。ただ、そういった調整をしながらも、キッチンカーで活性化につなげていくことは非常に重要だ。エリアの活性化に貢献していきたい。

東南アジアとの連携強化について

■質問：黒田武志…成果を上げていくためには、神戸経済との親和性をしっかりと分析し、戦略を進めていくことが重要である。産業協力や施策展開を通じて相互の強みを最大限活かし、双方が持続可能な関係を構築していただきたい。いかがでしょうか。

■答弁…JETROシンガポールに職員を派遣することが内定している。例えばシンガポールは金融のフィンテック、あるいは食のフードテック、新エネルギーに係るスタートアップなども集積しており、参入余地もあるのではないかと。神戸の企業の状況をしっかりと認識した上で、ASEANとのビジネス交流を進め、将来的な広がりを見据えた調査も進めていきたい。

※上記の他…●第29回神戸ルミナリエの総括●観光誘客の推進について●神戸市中央卸売市場本場の再整備について…等について質問いたしました。



令和6年 能登半島地震支援

令和6年1月1日の能登半島地震で亡くなられた方々に、心から哀悼の意を捧げます。被災された皆様には、今なお厳しい状況が続いていることを深く、お見舞い申し上げます。

神戸市からも多くの職員が派遣され、尽力されています。日本維新の会神戸市議員団としても、本市の教訓を基にした被災地の支援と効果的な復旧を推進していく所存でございます。被災者が1日も早く復興し、皆様が再び平穏な日常を取り戻せることを心からお祈り申し上げます。

神戸市は石川県珠洲市に対し、対口支援(カウンターパート)方式※による支援を行っています。 ※被災市区町村を1対1で担当する団体が自己完結的に支援する方式。

神戸市からの派遣状況(2月29日現在、延べ人数)

珠洲市 165人

珠洲市以外石川県 610人

神戸市能登地震
支援サイト



令和6年1月8日神戸市・兵庫県合同出発式(兵庫県庁)



神戸市公式noteより

神戸市消防局公式Xより



日本維新の会神戸市議員団は石川県珠洲市へ
500万円を寄付させていただきました。

代表質疑 (令和6年2月21日)

ながさわ 淳一



※人口ビジョンとは、神戸市が策定した人口の現状と将来の見通しを示す計画です。

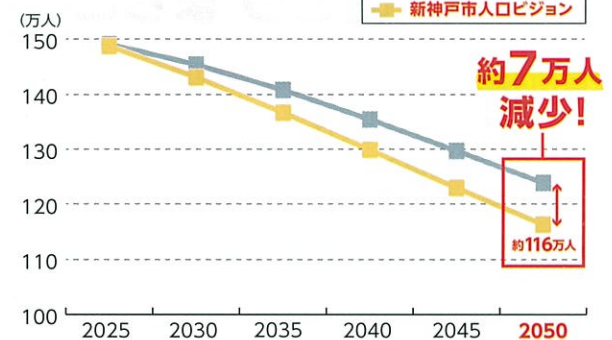
人口ビジョン※の改定について

ながさわ 神戸人口ビジョンが改定されましたが、初めての独自の算定手法で将来人口推計が行われ、2050年の推計人口を見ると、前回の神戸人口ビジョンと比較し、約7万人減少しています。今回の人口ビジョンを踏まえ、今後どういった観点で対策を講じていくのか、改めて考え方について見解をお伺いします。

久元市長▶ 神戸市は人口減少が進む中で、市民の生活の質を維持・向上させる政策を展開しています。人口流出、特に若年世帯と生産年齢人口の流出を防ぐための施策が重要です。大阪の高校無償化政策により、兵庫県内の高校生世帯の経済負担が増大し、人口流出が進む可能性があります。これに対応するために、高校生の無償化政策を取り上げました。神戸市は就職機能の強化、企業住宅手当等の支援補助金の創設、子育て世帯への切れ目のない支援強化などの施策を

行っています。また、都心と郊外のバランスのとれたまち創りに取り組み、まち全体の魅力を高める取り組みも行っています。神戸市は、全国的な人口減少が進む中でも、人口減少社会にふさわしいまち創りに取り組んでいきます。

■新・旧人口ビジョン比較グラフ



約7万人減少!

原 直樹



宿泊税の検討について

原 宿泊税を導入している福岡市が実施した宿泊事業者へのアンケートによると、宿泊税を活用した観光施策としてMICE誘致による地域経済の活性化やMICE施設の整備、修学旅行の誘致受け入れ支援に対して高い評価を得ております。また宿泊税に対する宿泊客の理解も進んでいるという結果も出ており、観光MICE施策を推進する本市においても有効な手段であり、本市でも宿泊税の導入を検討してはいかがでしょうか。見解をお聞かせ願います。

今西副市長▶ 先行自治体の中では、例えば議員からお話がありましたように、宿泊施設における多言語対応、あるい

はDXへの支援、駅などのバリアフリー化、観光案内機能の強化といった受け入れ環境整備の他、MICE施設の整備、地域資源を生かしたコンテンツの造成などに宿泊税が活用されているものもあるというふうにお聞きをしております。ビジネスホテルや旅館など宿泊事業者の経営形態や宿泊者の属性の違いなどもありますため、引き続き課題整理を行いながら検討してまいりたいと考えてございます。

その他

電気バス導入の補助について、神戸教育情報基盤サービスの再構築について、身近な公園における取り組みについて、空家対策について質問しました。

高橋 としえ



WHO神戸センターの見直しについて

高橋 兵庫県や神戸市等で構成される神戸グループとWHO本部との覚え書に基づき、平成28年度から令和7年度にかけて、WHO神戸センターへ運営費等の支援が毎年行われており、令和6年度に本市から100万ドルの拠出が予定されています。支援は年間100万ドル(1.4億円)でありかなりの財政負担となっています。私はこれまでも2020年2月の本会議や2020年7月の総務財政委員会において当センターの存在意義について問うてきましたが当局による答弁は、「緊密な連携のもと、センターからの情報を市民に提供する」との事でした。一方で、先日の県議会において、「今後の運

営支援の在り方に関して、神戸市とも連携しながら、国の動向も踏まえ、県の財政負担の軽減につながるよう検討していく」との答弁がありました。センターは感染症対策を所管しておらず研究成果による市民への還元には課題があります。支援の是非も含めて見直しを行うべきではないでしょうか。

今西副市長▶ WHO神戸センターへの支援につきましては、兵庫県においては県政改革方針の中で、見直し項目に掲げている他、ご指摘のように県議会において知事より財政負担の軽減に繋がるよう検討対応を行う旨の発言がなされました。第3期満了に向けて、兵庫県を中心に神戸グループとして今後の支援の在り方について経済界も交えて検討してまいります。

山本 のりかず

北区

神戸港ロジスティクスターミナルについて

山本 神戸港将来構想では、六甲アイランド南において、高付加価値の新たなロジスティクスターミナルの形成を目指すことが示されていますが、六甲アイランド南における神戸港ロジスティクスターミナルの実現に向けた検討は必要であると考えますが、考えをお聞かせください。



港湾局▶新たなロジスティクスターミナル形成は必要と考えているところですが、埋め立て用材が必要となるということで、早期の事業化は難しいということで考えています。

山本 将来的な神戸港ロジスティクスターミナルの実現に向けては、移動式のガントリークレーンの導入も含めて、ターミナルの一体利用により、効率的な着岸や荷役ができるハード整備に努めていただきたいことを要望致します。

令和6年度予算特別委員会

局別審査

所属議員が各担当部局に分かれて
令和6年度予算について質疑しました。



高橋 としえ

西区

西神中央駅周辺の交通安全対策

高橋 西神中央駅ではリニューアルが着々とすすんでおり、来街者が増えることは喜ばしいがそれに伴って、交通安全対策も必要になる。西神中央前のなでしこ芸術文化センター前から西警察署がある交差点まで約350メートルの間、横断歩道がなく、乱横断が散見されます。間に信号機を設置するなど安全対策を講じる必要があると考えるがどうか？



建設局▶西神中央線の停車車両の間をぬうような歩行者の乱横断が多いと認識しています。バスロータリーの出口部に**横断歩道と歩行者用の信号機を新設致します。**

要望 小部明石線 櫛谷町栃木の歩道の整備の積極的な取り組みをお願いします。

黒田 武志

西区

第29回神戸ルミナリエについて

黒田 4年ぶりの本格開催で、10日間で約230万人、メリケンパークでは約133万人の来場者があった。例えば神戸の冬の代表的な味覚である西区のイチゴなどのスイーツ等々を販売するなど、観光客がルミナリエに来られた際に、より深く神戸を感じられるような運営をしてはどうか。ルミナリエに来場することで知った食事や食材に再び出会うために、神戸を再訪することで神戸のブランディング向上と経済効果が期待できると考えます。



経済観光局▶ルミナリエは全国から神戸にお越し頂く神戸を代表する行事です。神戸の魅力を現場で体感して頂き、今後、市内事業者とも連携しながら、神戸の食事や食材をPRし、再び訪れて頂くことで経済効果を拡大していくよう取り組んで参りたい。

さとう まちこ

垂水区

保育所等における医療的ケア児の受入れ

さとう 厚労省のデータでは、医療的ケア児はこの15年で倍増の2万人超となっており、いつでも複人数を受け入れられるよう体制を整備する必要がある。また、保護者は仕事との両立は厳しく、誰でも通園制度でも受け入れられるようにしていただきたい。



こども家庭局▶施設の体制や児童の状態等を勘案しながら、ノウハウが蓄積された施設においては、複数名の受入体制をさらに検討・調整するなど、できる限り保護者のニーズに応えていきたいと考えます。

要望 新潟市が実施している、病児保育室の看護師等が保育所から病児保育室へタクシー等で送迎し、保護者が迎えに来るまでの間、病児保育室で保育するような事業を。夜泣きで悩むご家庭向けにバーチャル空間でアバター参加できるシステムを。

原 直樹

垂水区

税務業務改革について

原 税制は複雑また多岐にわたり、制度改革が頻繁に起こるため、行政自身が専門的な知識、技術を有していることが必要不可欠であります。行財政改革に資する形で、知識、技術の継承を含めてどのように専門人材を育成していこうとしているのか、考え方を伺いできますでしょうか。



行財政局▶税務専任職の指定を行い税務分野における幅広い知識の継承等に努めております。また専門性の高い業務については、専門研修を外部の様々な機関に委託して研修体制を構築しております。様々な取組みを通じて、市として適切な税務行政が遂行できるよう専門人材の育成については、今後も引き続き取り組んでまいりたいと考えています。

住本 かずのり

須磨区

带状疱疹ワクチン助成について

住本 令和4年9月の会派代表質疑において要望していた带状疱疹ワクチン接種助成については、兵庫県が令和6年度より開始し、県下の市町が助成する場合に助成額1/2、上限2,000円を支給することが発表されました。本市としても兵庫県と連携し、带状疱疹ワクチン接種助成を早急に開始すべきと考えますが、いかがですか？



健康局▶兵庫県の実施期間は令和6年度限りで、令和7年度以降は市町村の実施状況を踏まえつつ対応検討となっている。本市としても令和6年度、できる限り早期に実施できるように検討しています。

実現 新年度より4000円/回、一回助成実施されることになりました。(50歳以上の市民)

大井 としひろ

須磨区

須磨図書館の再整備について

中央図書館長▶今年度につきましては、クラウドファンディングにより集まった資金に基づいて、児童書を充実させるとともに、絵本作家の絵などを飾るピクチャーレールの設置など、アコーディオンカーテンの取替工事も行っており、児童コーナーの充実も図っているところでございます。今後も引き続き、快適に使っていただけますよう、施設や整備について必要な改修を行っていきたく考えているところでございます。



大井 ぜひ、須磨区図書館の再整備については、広く区民の意見も聞いていただき、区民、誰もが行きやすい交通の便の良い地下鉄沿線、できれば妙法寺辺りに図書館ができればと願っています。また合わせて、中島町にあります、文化センターや大ホール・体育館についても早急に検討するよう要望致します。

市政へのご意見・ご相談は
各区所属議員に
お問い合わせください。



お問い合わせは
こちら



教育委員会

岩谷 しげなり

兵庫区

境界知能にある人たちへの理解&対策

岩谷 近年、知的障害と平均の間にある「境界知能」に位置する人たちの存在が目され、日本人の約14%が該当することです。勉強が苦手・コミュニケーションが苦手・忘れ物をしがちといったものが、認知機能の低さに起因するにもかかわらず、本人の努力不足ということで片付けられ、不登校に陥ったり、社会に出た後の生き辛さにも結びついてしまうとされています。認知機能を強化させるプログラムを取り入れている自治体も既にあり、教員にとっても支援の方法が明確になるという効果が出ているとのこと。神戸市の学校でも、取り入れるべきではないでしょうか。



教育委員会▶プログラムの有効性は認識しています。情報収集の上、十分に研究していきたいと思えます。

岩谷 認知機能は学習の土台であるため、知的障害の軽度から境界域にいる児童生徒以外にも有効です。積極的な研究をお願いしたいです。

市長室・行財政局

ながさわ 淳一

長田区

総合コールセンターを コンタクトセンターへ

ながさわ AI(自動音声)の活用とシステムマッチな問い合わせ対応を通じ、人口減少社会における生産性向上と市民の利便性向上を図るべきと考えます。

市長室▶ウェブとAIを活用し、市民の利便性と職員の生産性向上を目指しています。イベント申し込みをウェブ化し、電話申し込みを24%に抑え、問い合わせが多い項目を自動抽出するシステムを導入。

ながさわ 神戸市独自の生成AIを要望しており、明らかにAIを使う方が効果があり経費も大きく削減可能です。代表質疑では、庁内マニュアル等の独自データを基に回答を行う**生成AIの検証を実施すると答弁**があったところである。企画調整局のAIの取り組み状況を見て研究・検討して頂きたい。



建築住宅局

川口 まさる

灘区

老朽空家の解体補助事業について

川口 空家対策の補助について、よく似た二つのメニューが併存しているが「老朽空家等解体補助事業」を利用せず放置し、催告相当の特定空家等になるまで状況を悪化させて「技術的援助の解体除却等補助」を受けた場合の方が、補助金額で優遇されているのは、制度の欠陥ではないでしょうか。

建築住宅局▶モラルハザードの懸念については、所有者による空き家の適正管理の必要性に加え、周辺住民に危害を与える危険性やその場合の損害賠償責任など、空き家を放置するリスクについて説明し、指導によって自主改善を強く促すことで対応しています。今後も、法や条例に基づく厳しい指導と支援を行うことで、危険な状態の早期改善を促したいと考えています。



危機管理室

のまち 圭一

中央区

サイバー攻撃対策について

のまち サイバー攻撃は日々進化し手法も巧妙化しています。対策を一度実施しただけでは不十分であり、防御策を常に更新し続ける必要があります。来年度の具体的な取り組みやその重要性についてお聞かせください。

危機管理室▶令和6年度では重要インフラのシステム点検と改修、ランサムウェア対策訓練、研修を実施します。関係機関との連携も強化し、サイバーレジリエンスの確保に全力を尽くします。これらの取り組みが、重要インフラの安全性と国民の安全を守る上で不可欠です。また、新たな脅威に対応するため、常に最新情報を入手し、迅速に対処する体制を整えます。継続的な訓練と情報共有がサイバー安全の基盤となります。

のまち インシデント発生時の**初動対応も重要**です。訓練をお願いします。



交通局

三木 しんじろう

中央区

交通局的これからの取り組みについて

三木 物価高騰や利用率の低迷により料金改定の話があるなか、安全対策・交通局内部のガバナンス強化・DXの推進など業務の効率化による経費削減といった内部の改革を進め、更には利用者のニーズを踏まえ、収入をいかに上げていくことも考えていく必要があると考えます。こうした交通局の継続的な取り組みに対する覚悟と考え方は?

交通局▶公共交通事業者として市民の足を確保し、持続可能な経営基盤を築き、安全運行を前提にサービス充実と経費削減・増収に努めます。また、経営情報発信や地域コミュニケーションを強化、市バス営業所では外部評価を導入しガバナンスの強化、積極的な経費削減や増収策を推進します。交通局全職員が一丸となって、あらゆる取り組みを強力に推進します。



交通局

外海 開三

東灘区

鴨子ヶ原のバス停について

外海 東灘区を走る市バス19系統、39系統は、神戸大学附属中等教育学校の登校時間にあわせ「神大附属前」を先に通る反時計回りの学校先行ルートで運行している。「神大附属前」から先のバス停においては、通常とは反対方向へ進むバスに乗ることから、通常のバス停ではなく道路の反対側のバス停から乗車する状態である。この朝だけのバス停は、道路に白線で「のりば」と手書きで引かれ標識もなく、隣は溝となっており利用者が多く危険である。「安全対策とサービス充実」を掲げる交通局としては、建設局とも連携し問題解決に向け対応を検討すべきであります。

交通局▶物理的に歩道上でバスを待つ環境にない事は認識している。安全に利用していただくため今後しっかりと考えていきます。



福祉局

なんの ゆうこ

東灘区

障害者の8050問題について

なんの 自宅で生活する障害者の中には高齢の家族が支えており、支援が行き届いていないケースを多く聞きます。適切にサービスが利用できるよう、市としてどう働きかけていくのかお聞きます。

福祉局▶障害者の高齢化や重度化、親なき後を見据え、各区に障害者地域生活支援拠点として障害者相談支援センターを設置し、障害者や障害児、家族からの相談に応じ利用援助を行っています。また独自の取り組みとして、障害者見守り支援員を配置、必要に応じて個別訪問を行う「障害者見守り支援事業」を実施しています。8050問題も踏まえ高齢分野の関係機関と連携して、**全ての障害者に対し**取りこぼしのない対応を徹底していきます。



要望14件を付して

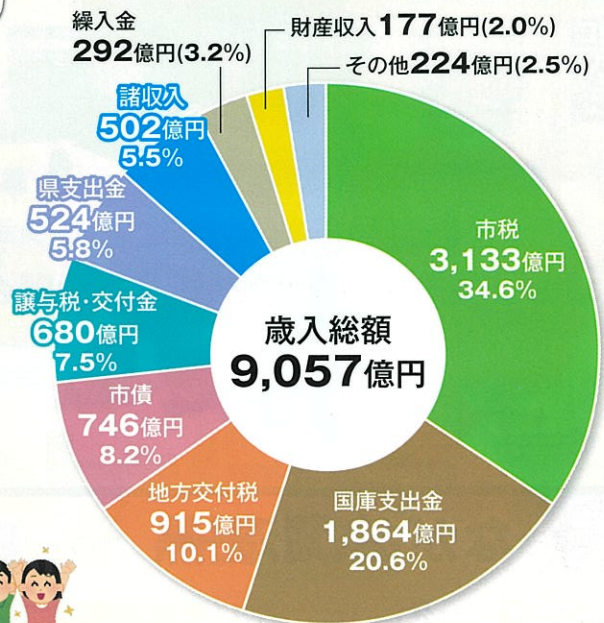
令和6年度予算を承認しました!

【承認理由】 新年度予算では我が会派が予算要望した、都市の成長、子育て・教育、高齢者・障害者福祉や健康に関する多くの項目に予算がつきました。また、持続可能な自治体経営、住みよい安全・安心のまち創りなどの期待する予算となったため令和6年度予算を承認いたしました。昨年末、神戸市は、働く女性向けウェブメディア「日経×woman(クロスウーマン)」と日本経済新聞社の調査「共働きで子育てしやすい街ランキング」では、**全国で4位、関西でトップ**となりました。今後も市民目線に立った市政改革提案を進めていきます。

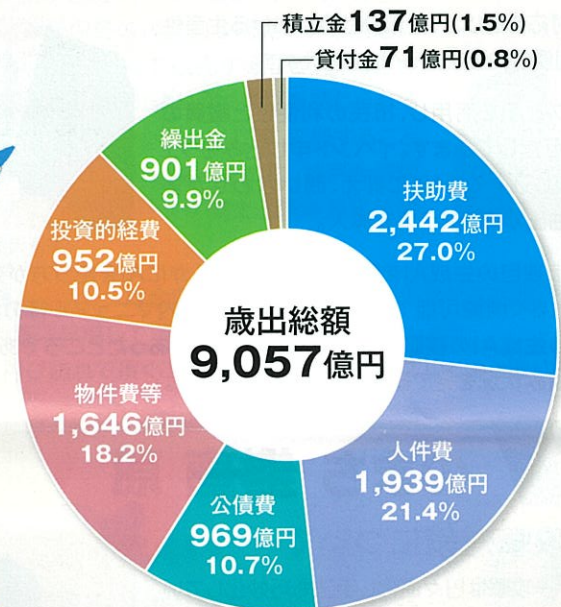


▲要望内容は
こちら

一般会計



款別歳入予算の構成比



性質別歳出予算の構成比

会派からの要望に予算がつきました (一部抜粋)

① 路上喫煙対策について

ぼい捨て防止重点区域を中心とした啓発活動及び巡回清掃の拡充
路上喫煙禁止区域における屋内型喫煙所整備補助の創設



② 障害者施策、困窮家庭の学習支援の充実について

発達障害者の支援体制の強化拡充
経済的事情を抱える家庭学習の支援拡充 (中学生オンライン学習)



③ 児童虐待防止対策について

こども家庭センターの体制強化・児童家庭支援センターの増設

④ 子育て支援について

生後1か月時に受診する健康診断の費用を助成



⑤ 神戸空港国際化について

空港からのアクセス強化、新ターミナル整備などの空港機能強化



⑥ 介護予防・フレイル対策について

フレイル状態にある方に対して改善プログラムを提供する箇所数拡大

⑦ クリーンステーション管理支援について

鳥獣被害対策の強化 (カラス対策ネットボックスのモデル設置)
外国人向けごみ出しルール啓発強化など排出ルールの徹底



⑧ 駅周辺のリノベーションについて

三宮駅を始めJR駅周辺空間の駐輪場整備等、ハード・ソフトの再整備
地下鉄駅前、神鉄沿線の地域の特性を活かした再整備



⑨ 大阪・関西万博について

空飛ぶクルマの社会実装に向けた民間企業の取り組みの支援
万博会場での催事実施に向けた企画及び機運醸成

神戸市会議員の期末手当アップ 維新は反対!!

令和5年12月6日11月議会において自民党・公明党・こうべ未来より上程されました、議員提出議案第8号「神戸市会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例」について日本維新の会は反対を行いました。

交渉会派	日本維新	自民	公明	こうべ未来	共産
賛否	×反対	○	○	○	×



※所属議員5名以上の交渉会派のみ記載 ▲反対討論はこちら



全国政令市で2番目に高額である議員報酬をさらに増額させることは、**市民からの理解を到底得られるものではありません!** 実質賃金の上昇及び、さらなる行財政改革を推進し、**市民生活を改善・向上させていくことが最優先!!**



令和5年分!

20,096,372円 を

石川県 (令和5年7月大雨災害義援金)、
福島県 (令和5年台風第13号災害義援金) に寄付しました!!



▲寄付の状況はこちら

徹底した行政改革を目指し、まずは、政治家自らが

身を切る!

身を切る改革は、日本維新の会神戸市会議員団が市民に約束した**最重要事項**です。公約である**議員報酬2割削減の実現**に向けて、引き続き率先垂範してまいります。

神戸に活力!! 北区に全力!!



神戸市政報告 2024.3

山本のりかず 通信 Vol.13

発行元：日本維新の会 神戸市会議員団
〒650-8570
神戸市中央区加納町6-5-1 1号館29階
TEL：078-322-0185
FAX：078-322-0184
E-mail：info@kobe-ishin.jp
https://kobe-ishin.jp



変革を恐れずにチャレンジしていく神戸へ!

- 提案1 神戸経済の活性化と民間活力の導入 **実現中**
- 提案2 議員報酬・議員定数削減と政務活動費の情報公開を徹底 **実現** (議員報酬は未実現)
- 提案3 子育て世代への支援と教育の充実 **実現中**
- 提案4 地域包括ケアシステムの構築と高齢者・障がい者福祉の充実 **実現中**
- 提案5 兵庫県と神戸市の二重行政解消 **実現中**

PROFILE

山本のりかず (神戸市北区出身)
■神戸市立鈴蘭台北町保育園～神戸市立山田小学校～私立甲南中高等学校～国立滋賀大学経済学部卒～民間企業～日本維新の会職員～神戸市会議員3期目(連続当選)
■一般社団法人代表
■関西学院大学アントレプレナーシップ課程修了
■家族構成：妻、子ども2人
■経済港湾委員長(神戸市会)
■党紀委員長(兵庫維新の会執行役員)



生まれた環境や親の経済的格差に左右されずに、子どもたちを支援できる体制へ!

令和6年 予算特別委員会

●子ども家庭局●

子育て世帯の負担軽減策としてサブスクリプションを提案!

【山本のりかず議員】

こべっこウェルカム定期便については、経済的負担軽減に見守り機能も付加した政策として評価している。昨年の本会議で保育所等におむつを配布してはどうかと提案したが、保護者の希望するブランドが利用できないという懸念もあるとの答弁だった。財政的に配布が難しく、運営体制的に全園が難しいのであれば、まずは公立保育所でおむつやおしりふきなどのサブスクリプションを行ってはどうか。



【岩城副局長】

おむつのサブスクを含め、保育サービスの充実については公民あわせて市全体で取り組む必要があり、既に実施している他都市や民間園での導入状況、課題等の把握に努め、保護者の声も聞きながら研究していく必要があると考えている。

【山本のりかず議員】

他都市に目を向ければ、東京都江東区が一部の保育所にて「手ぶら登園」という名称でおむつやおしりふきなどのサブスクリプションを導入している。神戸市においてこの政策が実現すれば、保護者がおむつに名前を記入して保育園に通うことや、保育士が各園児によっておむつを管理把握する業務負担から解放され、保護者の負担や保育士の職場改善にもつながることが想定される。他都市の状況も踏まえ、調査研究していただきたい。

母子保健情報のデジタル化を提案!

【山本のりかず議員】

国において、マイナンバーを活用した母子保健情報のデジタル化が進められており、神戸市においても妊婦健康診査受診券等の記載項目の見直しなど、一定の見直しが進められていると聞いている。市民サービス向上の観点より、積極的な取り組みが必要と考えるが、今後の方針について考えをお聞かせいただきたい。

【丸山副局長】

国において、母子保健情報について令和8年度以降の実現を目指し、課題整理のための実証事業が始められたところである。本市としては、国の動きを注視しながら、引き続き必要なデータの収集を行うとともに、国からの指針が示されたときにはスムーズにデジタル化に移行できるように準備を進めていきたいと考えている。

困難な状況にある子どもの支援にふるさと納税の活用を提案!

【山本のりかず議員】

ふるさと納税の寄附の使い道として、「児童養護施設等で暮らす子どもたちの応援」「困難な状況に置かれた子どもたちに食の支援」が選択可能と聞いている。市民の関心が高く、今年度はそれぞれ2億円程度の寄付額が見込まれ、1億円程度は事業に活用可能である。具体的にどのような事業に利用されるのか。また、経済的な困難な状況にある子どもたちの支援にどう繋がるのか、考えをお聞かせいただきたい。



【中山局長】

ふるさと納税を活用した取り組みとしては、令和4年度から児童養護施設を退所した児童向けの自立支援を行っており、自立に繋がっていると考えている。また、令和4年度からは生活が厳しい状況にある子育て世帯を対象に、食品等の提供をきっかけとした、地域や行政等の支援機関への繋がり支援に取り組んでいる。引き続き一人でも多くの子育て世帯、神戸市内の児童養護施設等で暮らす子どもたちへの支援充実に努めていきたいと考えている。

石川県珠洲市に災害義援金500万円を寄付しました!

日本維新の会 神戸市会議員団は、能登半島地震災害義援金として、神戸市のカウンターパートである石川県珠洲市へ500万円を寄付いたしました。

〈身を切る改革〉
徹底した行政改革を目指し、まずは、政治家自らが身を切る！
身を切る改革は、日本維新の会神戸市会議員団が市民に約束した最重要事項です。公約である議員報酬2割削減の実現に向けて、引き続き率先垂範してまいります。

料金受取人払郵便

神戸中央局 承認 6468

差出有効期間 令和7年11月14日まで (切手不要)

650-8570 924

日本維新の会 神戸市会議員団 行

神戸市中央区加納町6丁目 5番1号 1号館29階

日本維新の会 神戸市会議員団へのご意見やご提案をお書きください。

政策提案と実行力で神戸の成長を推進!

令和6年 予算特別委員会

●港湾局●

神戸港の国際競争力強化に向けた輸送ルートの構築を提案!

【山本のりかず議員】

神戸港においては、地方港と結ぶ国際フィーダー航路に対する支援など、瀬戸内・九州・日本海側からの集貨に注力してきた結果、航路が拡充されるとともに、国際フィーダー貨物も増加するなど、国内からの集貨については、一定の成果が出ている。一方で国外からの集貨は、コンテナ取扱貨物量に占める国際トランシップ貨物量の割合が依然として低い状況にある。国土交通省の「新しい国際コンテナ戦略港湾政策の進め方検討委員会の最終とりまとめ」でも示されているが、他のアジア主要港との競争が可能な北米・中南米地域向けの貨物を中心とした、東南アジア等からの広域集貨に向けた輸送ルートの構築が必要と考える。そこで、東南アジアからの集貨についてどのように考えているのか確認したい。



【松本技術担当副局長】

東南アジアの集貨に関して、昨年11月にはベトナムのハイフォンを訪問し、国際トランシップ貨物の獲得を目的としたセミナーを開催して現地の日系物流企業などへのポートセールスを実施した。また、阪神国際港湾株式会社においては、阪神港で培った技術を生かした国際貢献を目的に、平成30年にカンボジアのシアヌークビル港に出資しており、令和5年3月に双方のトップが現地と神戸にて集貨の取り組みを含めた情報交換を行っている。引き続き、シアヌークビルを始めマレーシアのポートクラン港や東南アジアのMOU締結港とのネットワークを最大限に生かしながら東南アジアの集貨できるように取り組んでいきたいと考えている。



視察報告 (神戸市内)

◆海軍操練所跡地を視察



◆ポートアイランド第2期のコンテナターミナルを視察



北区や神戸市での新規政策実現!

◆子育て関連事項

直近10年間の子育て予算金額が約1.5倍に増加!

	当初予算額		当初予算額		当初予算額
H26	93,041,937,000	H30	111,239,358,000	R4	127,777,722,000
H27	101,076,283,000	H31	117,218,877,000	R5	126,546,602,000
H28	103,670,256,000	R2	127,240,192,000	R6	134,367,186,000
H29	109,010,006,000	R3	131,715,611,000		

◆こべっこウェルカム定期便

子どもが生まれた世帯を対象に、月に1回おむつやミルク等の育児用品を配達し、配達に合わせて声掛けや支援情報の提供等を含めた見守りを実施。

※令和6年秋以降に、計10回配達(1回目は1万円相当、2～10回目は3,000円相当)



◆高校生など通学定期券補助の拡充

子育て世帯の家計負担軽減と多様な教育環境を維持していくため、神戸市在住の高校生等が市内高校などに通う場合の通学定期代を令和6年9月より無料化。

※現行制度では年額14万4千円を超える通学定期代の2分の1を補助。

◆新北図書館、新北文化センターの整備

体育施設を備えた新北文化センターや新北図書館の令和8年度の供用開始に向けて、旧北区役所跡地の解体工事を進め、建設工事に着手。

◆北区の神戸電鉄駅周辺の再整備

有馬温泉駅、有馬口駅、唐櫃台駅、西鈴蘭台駅など(神戸電鉄)。



◆北部小児初期急病センター(仮称)が2024年4月に新規開設!

神戸市北区では、区内の子どもが怪我をした又は体調が悪くなった場合に診療する医療機関として、神戸こども初期急病センター(神戸市中央区)を利用する場合がありますが、地域密着の医療機関として北区で受診可能となりました。

場 所：済生会兵庫県病院内(北区藤原台中町5-1-1)
電 話：078-987-2222
開設日時：木曜(19時～21時)、休日(9時～12時)

身のまわりについて困りごとがあればご相談ください!

神戸市の行政に関する意見や困りごとがあればメールまたは電話にてご連絡ください。例えば、道路が陥没していて危険だ! 公園の管理が行き届いていない! 子育ての支援について、こうして欲しい! 障がい者の雇用が充実していない、などの要望があれば、ご自宅や地域の集会所、喫茶店などでも伺います。神戸に住んで良かったと思える地域にしていくために、皆さんの意見を行政や議会に届けます。神戸市民の皆さんとともに、安全・安心の街づくりを構築してまいります。



切り取ってポストにご投函いただくか、メールまたはFAXでお送りください。

連絡先

■日本維新の会 神戸市議員団:〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 1号館29階
TEL(078)322-0185 FAX(078)322-0184 メールアドレス:info@kobe-ishin.jp
http://www.kobe-ishin.jp

■山本のりかず広聴事務所:〒651-1243 神戸市北区山田町下谷上字梅木谷23番地16-208
TEL&FAX(078)907-5601



あなたのお考えに当てはまるところに○をつけてください

2024年5月に『神戸 2024 世界パラ陸上競技選手権大会』がユニバー記念競技場(神戸総合運動公園)で開催されることをご存知ですか?

①知っている ②知らなかった ③観戦予定である
④その他()

2025年春に受け入れる国際チャーター便の就航と国内線増便に備えて神戸空港のサブターミナル建設を進めていることをご存知ですか?

①知っている ②知らなかった ③とても興味がある
④その他()

神戸空港は2030年を目標に国際定期便の就航を予定しており、アジア路線を中心として神戸空港から海外に行けることをご存知ですか?

①知っている ②知らなかった ③とても興味がある
④その他()

日本維新の会 神戸市議員団に期待する点は?(複数可)

①神戸経済の活性化 ②議会・市役所の改革
③教育・子育て環境の充実 ④健康福祉の充実
⑤市民サービスの向上 ⑥情報公開の徹底
⑦その他()

あなたがお住まいの地区の困りごとやご要望があれば自由にお書きください。

例) 子育て支援、空家対策、支援の強化など

ふりがな	
お名前	
ご住所	
電話番号	
FAX番号	
メールアドレス	

(切り取り線)

(切り取り線)

神戸ならではの教育ビジョンの確立を!

(令和5年10月2日 決算特別委員会 第3分科会)

「神戸の教育は一体何を狙っているのか?」というお声を保護者の皆さんから多数頂戴しております。確かに、今の神戸の教育行政の方針は分かりにくいです。

例えば、さいたま市では英語の授業数が全国平均よりも多く、独自の教材を用いたり、外国人講師も多数配置するなど、英語教育に大変力を注いでおります。その結果、さいたま市の小学生・中学生の英語力は全国の中で群を抜いて高いです。さいたま市は、0歳から14歳の転入超過数連続全国1位ですが、教育も一定程度寄与していると推測されます。

また芦屋市では、高島りょうすけ市長が「最高の学びができる芦屋」を目指し、教育改革を東京大学大学院と連携して行なっていくと発表し、メディアも大きく注目。

神戸市も「神戸の教育はこれだ!」と言えるような、他の自治体に負けない、誇れる魅力をブランディングし、発信していく必要があると質疑要望致しました。

教育委員会からは、今の教育振興基本計画では、神戸

市の目指す方向性が分かりにくくなっていることから、他都市の事例を参考にしながら、より分かりやすい計画を策定した上で、市内外に発信していくとの回答。

教育施策・内容も、子育て世帯がその街を選ぶ考慮要素となっています。若者の人口流出が著しい神戸、それに歯止めを掛けるためにも教育改革を推進して参ります!



令和5年10月2日 決算特別委員会

日本維新の会 神戸市会議員 兵庫区選出

発行元: 日本維新の会 神戸市議員団
〒650-8570
神戸市中央区加納町6-5-1 1号館 29階
TEL:078-322-0185 FAX:078-322-0184
E-mail:info@kobe-ishin.jp
https://kobe-ishin.jp

いわたに 岩谷しげなり vol.02 通信

プロフィール

- 神戸市会議員・弁護士
- 神戸市立六甲アイランド高校(音楽コース)卒業
- 大阪音楽大学作曲学科を最優秀賞を得て卒業
- 在学中より国内外で音楽活動
- 慶應義塾大学法学部政治学科卒業
- 京都大学法科大学院修了
- 司法試験合格
- 弁護士として医療や家族の問題解決等に奔走
- 2023年神戸市会議員選挙で初当選
- 教育こども委員会・外郭団体に関する特別委員会・都市計画審議会に所属
- 日本維新の会・神戸市議員団、及び兵庫維新の会、政務調査会メンバー



子どもの命と心を守る!



令和5年度、岩谷は「教育こども委員会」に配属となりました。

いじめ問題や教員の不祥事、さらにはそれらへの対応で混乱する学校現場や教育委員会…。また令和4年度における不登校等の児童・生徒は、小学生から高校生まで合計約4200人と、増加の一途を辿っているなど、神戸市の教育は、まだまだ多くの問題を抱えています。さらに昨年6月に発生した、西区の6歳児死亡事案においては、子ども家庭局や区役所、児童相談所の対応に、多くの疑問や批判が集まりました。

—「神戸で子育てしても大丈夫?」

ご不安に思われている保護者の方々からは、そのようなお声も頂戴しました。

子どもたちが健やかに成長できない街に、未来はありません。

子どもたちが安心・安全に、そして自分の心に正直になれる、そんな神戸になるよう、引き続きしっかりと取り組んで参ります。



令和5年10月2日 決算特別委員会

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	001002
加入者名	488369
金額	5000000
振替先	珠洲市能登半島地震 災害義援金
依頼人	日本維新の会 神戸市議員団
日附印	

能登半島地震・石川県珠洲市へ 500万円寄附を行いました

本年1月1日、能登半島沖でマグニチュード7.6の地震が発生いたしました。お亡くなりになられた方々に対し心よりご冥福を申し上げますと共に、一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

この度、日本維新の会・神戸市議員団は、「身を切る改革」の一環で、自らの議員報酬から捻出し総額500万円を、災害義援金として石川県珠洲市へ寄附を行いました。

神戸市からも、職員が多数現地へ派遣されております。同じく被災地であった神戸市選出の議員としても、引き続き支援を行なって参ります。

身の回りでお困りのことをご相談ください!

連絡先

日本維新の会 神戸市議員団

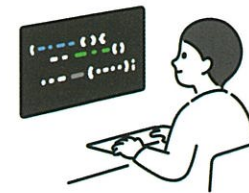
〒650-8570
神戸市中央区加納町6-5-1 1号館 29階
TEL:078-322-0185
FAX:078-322-0184
E-mail:info@kobe-ishin.jp

岩谷しげなり・会派公聴事務所

〒652-0046
神戸市兵庫区上沢通1丁目3-2
湊川公園パークハウス103号室
TEL:070-8939-9970
E-mail:mail@s-iwatani.com

<https://kobe-ishin.jp/>

虐待情報の共有システムが構築される予定です



現場の警察官が迅速かつ的確に対応できるようにするために、兵庫県が所管するこども家庭センター(児童相談所)が受理した全ての児童虐待の情報をリアルタイムで兵庫県警と共有するシステムの構築が進められており、令和6年の秋から運用開始を目指しています。

共有される情報は、虐待種別だけでなく、過去の通告情報や一時保護情報、家族構成、相談経路等も含まれる予定です。

日本維新の会は神戸市当局に対し、当該情報共有システムを兵庫県と連携の上、推進する他、**的確かつ即応性のあるリスク判断を可能にする先端技術の導入を求めています。**

神戸市西区・6歳児死亡事案

(令和5年8月23日 教育子ども委員会)

昨年6月22日神戸市西区の草むらで、6歳男児の遺体が発見されました。本児の死因は外傷性ショックとされており、男児の親族が殺人罪の疑いで警察に逮捕されました。

亡くなられた児童のご冥福を心よりお祈り申し上げますと共に、二度とこのような悲劇を繰り返さないよう、神戸市会議員としても決意を新たに致しました。

現在、捜査中であり死亡と虐待との関連については明らかになっておりませんが、子ども家庭センター(児童相談所)や区役所の対応等を議題として、教育子ども委員会が臨時で開催されました。

的確な緊急性判断ができるように マニュアルの改善を要望

神戸市の児童虐待対応マニュアルにおいては、虐待を疑う情報があれば原則、48時間以内の児童の安否確認が定められています。しかしながら本事案においては、担当者が児童に会えたのは、情報が寄せられてから1週間以上経ってから。その際、既に児童にあったとされる外傷性と見られる痕は消えていました。そのことが今回、当局の**緊急性の認識の欠如**に至った要因であると考えられます。

その上で岩谷からは、今後は、**48時間以内に児童の安否を確認できなければ、「緊急性高し」として児童相談所や**

警察との共有を図っていくよう、児童虐待対応マニュアルを改善していくべきである旨、求めました。

これに対し丸山子ども家庭局副局长からは、**どの事案にも対応できようリスク判断を行うための方法について整備する必要がある**との答弁がなされました。



情報共有の充実と 一元化に向けた体制作りを要望

本事案に至ったもう一つの大きな原因として、**情報共有体制の脆弱さ**が考えられます。

確かに被害児童にあったとされる痕の存在一つで、今回のような大きな事案に発展すると予期・判断することは、現場としては難しさもあったかもしれません。

しかしながら、保育園や近隣の住民、民生委員、児童委員、保健所、児童相談所、区役所等々、児童を取り巻く関係各所の皆さんがそれぞれ保有している断片的な情報、ないしは「小さなシグナル」を集約できる体制が整っていれば、「緊急性高し」と判断できた可能性も高いです。

岩谷からは情報の一元化を可能とする体制作りを、当局に強く求めました。

第三者委員会の報告を待たずに、 市当局自らも検証・改善を!

本事案に関しては、大学教授や弁護士等の有識者による第三者委員会が設置されました。同委員会では、検証結果とともに再発防止に向けた提言を報告書として取りまとめられ、公表する予定となっています。

しかし、それでは遅すぎます。

例えば令和4年度は、神戸市だけで1709件もの新規の虐待通告相談があったことから、日々、明日にでも大きい事態へと発展しかねない通告や相談が来ている可能性があります。

第三者委員会の検証や提言も重要ですが、それを待たず、市当局が自主的に改善の取り組みをしていくことが必要不可欠です。

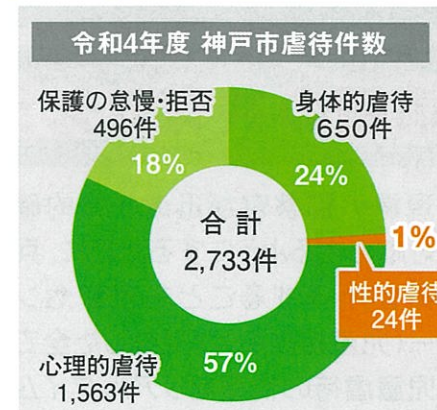
それを踏まえ岩谷から、本事案を受けて市独自でどのような取り組みをしているのかにつき質疑。それに対し、丸山子ども家庭局副局长から、**現在対応している事案についてなるべく早く児童の安全確認をすることや、養育状況の調査を積極的に進めること等を各区や子ども家庭センターの方に通達したとの答弁**がありました。引き続き、注視して参ります。



令和5年8月23日 教育子ども委員会

性的虐待の潜在化を防げ!

(令和5年6月14日 教育子ども委員会)



令和4年度、神戸市における性的虐待に関する相談の割合は、全体の内、わずか1%との報告がされています。しかしながら、大手芸能事務所における性的加害問題でも明らかになったように、この種の虐待は潜在性高く発見がされにくいことから、

氷山の一角であると推察されます。特に幼少期などは、自分が一体何をされているのか分からない、自分がされている行為についての善悪の判断がつかないことから、**表面化せず長期間潜在化しているケースも多くある**と言われています。

性的虐待を少しでも防ぐためにも、子どもたちが一定程度、自己防衛できる仕組みづくりが大切です。

岩谷からは、周囲に相談しやすい環境作りに加え、自己防衛するに足りる範囲内での性教育等に取り組んでいくよう要望致しました。例えば神奈川県では、子ども向けの啓発ステッカーが作られており、このような取り組みも必要です。

運動部における 女子生徒の生理への一層の配慮を

(令和5年6月14日 教育子ども委員会)

運動部に所属している女子生徒が、激しいトレーニングをすることによって無月経となり、ケガを誘発してしまう事例があります。また実際に、生理で体調が悪いにも関わらず、男性顧問や指導員にそのことを言い辛く、無理をした結果、ケガをしたりさらなる体調不良に陥ってしまったというお話もお聞きしました。

今後、学校の部活動は、段階的に外部委託されていく見通しですが、**男性顧問、そして指導員に対する女子生徒の生理への理解増進について質疑**しました。

教育委員会も、その重要性を認識しているとのこと。現状は、教員向けに研修等を行なっている一方で、**思春期にある女子生徒が自身の体の変化を男性顧問に伝えづらい点に関する情報共有のあり方については、様々な部活動や指導員のタイプに併せて検討していく**とのことでした。



令和5年6月14日 教育子ども委員会

大切な「栄養教諭」 更なる拡充等を要望

栄養教諭という存在、ご存知ですか?栄養士と共に献立の作成や、栄養や食事の取り方などについて正しい知識を身につけさせる「食育」を行っています。

しかしながら神戸市内において、配置されている学校と配置されていない学校があり、児童生徒数が550人未満

の学校については、1人の栄養教諭が4校を担っています。

アレルギーがある児童生徒に対して、成長に合わせてどのような代替食材で栄養を確保していくべきかといった指導も、栄養教諭の大切なお仕事。

岩谷からは、栄養教諭が配置されている学校と配置されていない学校とで、アレルギーがある児童生徒への食育に差が出ないように、しっかり取り組むよう要望しました。

当局からは、**配置されていない学校をどのようにカバーしていくか検討すると同時に、国に対しても栄養教諭の定数の増加を要望していく旨の回答**がありました。

まだまだ知名度が低い栄養教諭というお仕事、まずは保護者や地域の皆様に知っていただくことが、子どもの食環境の向上に繋がっていきます!

子どもや若者が主体的に 社会に参画できるように!

(令和5年6月14日 教育子ども委員会)

政府は現在、オンラインやリアルでの意見交換を通じて、子どもや若者の意見を直接政府の政策に反映していく「**子ども若者★いけんぷらす**」という取り組みを進めています。

子どもや若者が政策立案に主体的に参画する機会を確保することで主権者教育にも繋がるだけでなく、自己肯定感の向上にも繋がり、さらにはマイノリティや障がいを持つ子どもや若者の声も直接、政府に届けられる非常に素晴らしい取り組みです。

登録者は随時募集されておりますが、神戸市内の子どもや若者、保護者の皆さんにはまだまだ周知不足…。神戸市としても、より積極的に周知していくよう要望しました。

当局からは、保護者としての連絡ツールである「すぐーる」をはじめ、イベントや児童館、ユースステーションなど子どもが集まる場所での周知、また市内の大学への周知を行なっていくということでした。



子ども家庭庁「子ども若者★いけんぷらす」 検索

<https://www.cfa.go.jp/policies/iken-plus>

**メンバーは随時募集中です。
ぜひ周りのお子さんや若者の皆さんに
教えてあげてください!**